

令和3(2021)年度 ウィークエンド青少年セミナー③実施報告

実施日：令和3年6月19日(土)

今回も、栃木県総合教育センターで実施しました。最終日の「子どもたちが楽しめるイベントの実践」に向けて、各班でイベントの内容を考えました。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、受講者間にポリステレン板を設置するなどの対策をとり、実施しました。

講話「若者の社会参加とボランティア」

宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 若園 雄志郎 氏

若園先生から冒頭、ボランティアとは「自分がやりたいか、楽しいか」が重要であること、その上で地域や社会に役立ち、その喜びや学びを得ることの大切さについてお話がありました。

その後、若者の定義について、受講者は自分のスマートフォンを使用して調べ、それぞれ思案していました。また、ラベルワークの中で地域全体が若者の活躍により生き生きと明るくなる理由を考えるなど、様々な視点から社会参加とボランティアについて学ぶことができました。

演習「子どもたちが楽しめるイベントの企画②」

総合教育センター職員

前回に続き、各班ごとに最終日のイベントの内容について意見を交換しました。今回は企画書を完成させ、提出することになっていたのも、積極的な話し合いが行われました。また、なかなか良いアイデアが思い浮かばず、頭を抱えて悩んでいる受講者がいるなど、自分たちでイベントを考える難しさを実感したようでした。

最後に、各班からイベント内容と進捗状況の報告を行い、受講者はイベントの実践に向けてイメージを膨らませているようでした。



* 受講者の感想より *

- 他の班のイベントの企画内容を聞き、興味が湧きました。自分たちの班の企画も魅力あるものにしたいと思いました。
- 最初は緊張していましたが、班のメンバーが良い人ばかりで安心しました。次回も積極的に意見を言い、班の役に立ちたいと思いました。
- コロナ禍感染防止対策が行われていて、安心しています。イベント当日もコロナ禍対策ができるように、工夫したいと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp